

第1回「仙台塩釜港カーボンニュートラルポート協議会」の概要

<協議会の趣旨>

国際物流の結節点かつ産業拠点である仙台塩釜港において、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化を通じて「カーボンニュートラルポート」を形成し、脱炭素社会の実現に貢献するため、港湾関係者で構成する「仙台塩釜港カーボンニュートラルポート協議会」を以下のとおり開催しました。

<概要>

- ・日時：令和4年6月8日（水）午後3時から午後5時まで
- ・場所：TKPガーデンシティ仙台 ホール21AB
※対面とweb参加の併用開催
- ・出席者：学識経験者，経済団体，港湾関係者，国・関係市町（全41名）
- ・内容：カーボンニュートラルポートについて

<主な意見>

1. 計画策定後は、産業変革・技術変革に対応するため、いくつかの段階で指標に基づいた検証を実施していくことが大切である。
2. 次世代エネルギーへの転換にあたっては、発電所・工場・荷役機械・船舶の運航運用等のレイアウト再配置も視野に入れて検討を行うべきである。
3. 東北らしさや東北の強さを考えて検討を進めるべきである。
4. 次世代エネルギーへの転換過程では、既存の設備からどのように移行していくか、設備投資・場所の計画・安全対策等をトータルで議論する必要がある。
5. エネルギーキャリアによって、港湾以外のインフラ・荷役・設備等計画も変わるため、今後に向けた方向性を共有していくことが重要である。

(開催状況)

